

RTB House による、Google 社の プライバシーサンドボックス展開の延期に対する見解

ディープラーニング(深層学習)に基づいた最先端のマーケティングテクノロジーをグローバル展開する RTB House (本社:ポーランド・ワルシャワ、社長:ロバート・ディチコフスキー)は、先日 Google が発表したプライバシーサンドボックス展開の延期に関する見解を以下のように発表します。

Google は 2021 年 6 月 24 日に[プライバシーサンドボックスの新たなスケジュールを発表](#)し、2023 年半ばからの 3 ヶ月間でサードパーティークッキーのサポートを段階的に廃止する計画を明らかにしました。今回の予定変更はレギュレーター、パブリッシャーや広告業界において変化に対応するための「十分な期間」を与えることを目指したものです。

RTB House のグローバルインベントリー・パートナーシップディレクターである Lukasz Włodarczyk は次のように述べています。

「スケジュールが改められたのは驚くことではなく、最近の英国競争・市場庁(CMA)による介入への対応だと思われます。懸念は理解できますが、この発表はクッキーレスな未来を準備するために、より多くの時間を確保し、プライバシーサンドボックスの成功を確実なものとする前向きな変更であると確信しています。」

プライバシーサンドボックスを Google が 2020 年 1 月に発表して以来、RTB House はクッキーレスな未来に向けて綿密に整備したプラットフォームの構築に積極的に取り組んできました。直近では、[プライバシーサンドボックスの FLEDGE シミュレーションを DSP として初めて活用](#)し、500 社あまりの広告主向けの広告インプレッションを買い付けるという実績を打ち出しました。RTB House は [FLEDGE](#) に完全に統合された提案が二つある唯一のプロバイダーであり、プロジェクト全体の有用性と競合性を高めています。

このようなことから、RTB House はスケジュールの延長はプライバシーサンドボックスの市場展開をより現実的なものにするものだと考えています。広告主やパブリッシャーにとっては、個人、グループ、そしてコンテキストualターゲティングを採用した新たなマーケティング戦略を統合する時間をもたらします。さらに、このスケジュールの変更は FLoC と FLEDGE のテスト段階における買い手サイドからのさらなるエンゲージメントに繋がり、当社がさらに FLEDGE シミュレーションをテストし、精度を高めることを可能とします。

また、Google Chrome のみが信頼ある広告ユースケースを扱うプライバシー重視の APLs 上で稼働するブラウザではないことは大変嬉しいことで、Microsoft Edge の [PARAKEET](#) や Firefox の今後の[発表](#)にも当社は期待を寄せています。RTB House は台頭するこれらクッキーレス広告ソリューションをプラットフォームに統合し、協業することを期待しています。

クッキーレス広告についての詳細は blog.rtbhouse.com をご参照ください。

RTB HOUSE =

RTB House について

RTB House はポーランド・ワルシャワに本社を置き、最先端のマーケティングテクノロジーを世界のトップブランドおよびエージェンシーに提供しています。RTB House はディープラーニング(深層学習)に基づいた世界初の広告入札エンジンを独自開発し、広告主の全てのファネル段階における目標達成に貢献しています。

2012年の創業以来チームは急速に拡大しており、現在750人以上のプロフェッショナルが30以上の拠点で、2000を超えるキャンペーンを世界各国のクライアントに展開しています。

RTB House は2018年に深層学習をアルゴリズム全てに展開してからも人工知能の研究を進めています。新しいマーケティングソリューションを発明・開発するためにAIマーケティングラボ、クリエイティブラボを開設し、2020年にはAI Full-Funnel Marketing Solutions、およびStreaming Video Adsの提供を開始しました。

詳細は <https://www.rtbhouse.com/jp/> をご覧ください。